

飛島村がこれからの10年間で目指す姿（重点施策）

基本政策 (むらづくり)	分野	いまの村のすがた	これから目指す方向	こんな幸せにつながります	実現のために行う事業	参照 ページ
災害に強い	防災基盤	伊勢湾台風後、国や県に対して堤防強化や排水施設の強化を要望しています (30年以内にマグニチュード8以上の地震が起きる確率は70～80%と予測)	南海トラフ地震等に備えて、今後も堤防の強化や排水施設の強化を要望しながら、村も排水施設の維持管理を徹底します	地盤面の低い地域であっても、強固な堤防や排水施設で守られることで、住民の皆さんが安心感を持って暮らせる村にします	①河川総務事務事業（既）農地防災事業（既）都市下水路整備事業（既） ・国、県等の関係機関と連携し、設備の整備、更新を行います ・既設排水路等において、適切な維持管理を行います ②土地改良事業等助成事業（既） ・土地改良区への補助金を維持し、排水施設の維持管理コストを確保します	総合戦略 P2
	情報	防災情報は同報無線、HP、メール、ツイッターで発信します	村内の防災情報を住民の皆さんにリアルタイムに、そして確実に伝えられる村を目指します	すべての住民の皆さんが情報を得ることができ、日頃の訓練どおりに命を守る行動がとれる村にします	①防災設備維持管理事業（既） ・災害情報伝達手段を多様化するとともに、スマートフォン（タブレット端末）の操作に慣れない高齢者の方等を対象とした操作説明を進めます ・夜間災害時に避難経路を案内する発光型避難看板を整備します。 ②防災対策事業（既）社会福祉総務事業（既） ・情報伝達手段はICTに限らず、あらかじめどこに要援護者が住んでいるか把握して、可能な限り情報伝達や助け合いにつなげます	総合戦略 P3
	避難	避難できるところが23カ所あります (避難所8、公共施設5、協定締結10)	住民の皆さんが地震や風水害の危険度をしっかりと理解し、いざというときは身を守る行動がとれる村を目指します	住民のすべての皆さんが避難できる場所が確保され、災害時に地域全体で協力して行動できる村にします	①防災対策事業（既） ・防災訓練の実践的強化：住民の皆さん、企業の皆さん、役場職員が一丸となって実践的な訓練を実施します ②防災対策事業（既） 地域の皆さんの協力を得ながら自主防災組織の強化を進めます	総合戦略 P4
活気づくり	農業・水産業	農業生産者が減少しています 農業等を魅力とやりがいを感じられる産業として育成するとともに、担い手の確保・育成が求められています	優良農地を保全することで、農地の維持、機能向上をはかります。	農地中間管理機構を活用することで、水田が適正に維持され。景観や防災上の貯水機能が維持されます	①土地改良事業等助成事業（既） ・土地改良区への継続的な支援により、揚水や排水機、水路等の維持に取り組みながら機能向上を図ります ②農業振興管理事業（既） ・農地中間管理機構を活用し、優良農地を保全します	総合戦略 ①P6 ②P7
			農業生産物を出荷できる機会を創出します	産直市を拡大することで販いをつくり、出荷者の生きがいと所得を高めます	①農業振興管理事業（既） ・畑作等における生産物について、産直市で販売する等、生産物の販路拡大に努めます ②ふれあいの郷再編事業（仮称）（新） ・ふれあいの郷を再編し、産直市を拡充して設置します	総合戦略 ①P7 ②P11
			農業・水産業の担い手との情報交換を進めます	農業・水産業の振興が図られます	①農業振興管理事業（既） ・農政懇談会を定期的に開催して農業の担い手との情報交換を進めます	総合戦略 P7
	商業	後継者不足等の問題により、村内商店が減少しており、住民の皆さんは村外に買い物などに行く機会が増えています	既存店の維持・発展に向けた支援を進めます	訪問販売等が展開されることで住民の皆さんが便利に暮らせるようになります	①商工振興事業（既） ・既存商店のニーズを把握しながら、住民の皆さんが求める業態の店舗展開につなげるよう支援します	総合戦略 P8
			住民の皆さんのニーズに応じた新業態の既存店等への展開を支援していきます	村内で基本的な買い物ができるようになります	①商工振興事業（既） ・住民の皆さんが求める業態（ドラッグストア等）に対する店舗展開のアプローチや既存店における業種展開（取扱商品の多様化）を支援します	総合戦略 P8

飛島村がこれからの10年間で目指す姿（重点施策）

基本政策 (むらづくり)	分野	いまの村のすがた	これから目指す方向	こんな幸せにつながります	実現のために行う事業	参照 ページ
	工業	臨海部の企業と住民の皆さんが住む区域が エリア分けされており、日常の交流はほぼ ありません	皆さんのニーズを把握し、課題解決に努めること で、継続して本村で事業を展開できる環境を作り ます	企業の皆さんが事業を発展的に継続できる環 境を作ることにより、従業員の皆さんの利便 性を高めます	①名港西部臨海企業連絡事業（既） ・名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会への加入企業の増加を 図りつつ、代表企業の担当者と会議などを通じたニーズの把握に 努めます ②公民館分館管理事務事業（既） ・企業活動の展開を一層後押しするため、また起業支援を進める ため、ニーズを踏まえながら公民館分館等にサテライト オフィス等の必要な環境整備を検討します	総合戦略 P9
			企業の皆さんと行政が連携し、環境対策を進めま す	環境対策に積極的に取り組む村づくりを進め ます	①SDGs（環境対策）推進事業（新） ・企業と連携しながら、SDG s（環境対策）を進めます	総合戦略 P9
	公園緑地・自然	各地区に公園を整備しています 長時間滞在できる公園として整備されてい ません	村内外の人が安らぎを感じられる公園を整備しま す	ゆっくり一日を過ごせる憩いの場が身近にで きて、村内外から人が集まることで交流の場 所ができます	①総合公園整備事業（新） ・運動の森公園を（古台ソフトボール場を含む）を地区公園にない 機能を持たせて整備します ・田園地帯ののどかな景観を大切にすることで、安らぎを感じな がら多目的に使える魅力ある公園整備を目指します ②公園維持管理事業（既） ・既存の地区公園を再編し、住民の皆さんに親しまれる憩いの場と して整備します	総合戦略 P10
	観光交流・プロモーション	マルシェ、イルミネーション等のイベント を企画し、村の魅力を発信しています	観光交流の拠点を整備し、飛島ふ頭の夜景等、新 たな情報を全国に向けて発信します	観光誘客による商店の賑わいにとどまらず、 村の魅力が広く知れ渡ることにより、住民の 皆さんがさらに郷土を誇りに感じられるよう にします	①名港西部臨海企業連絡事業（既） ・名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会と連携し、村を通じた工場 見学の受け入れを進め、観光ルートとして展開します ②ふれあいの郷再編事業（仮称）（新） ・ふれあいの郷を再編し、パンや弁当等の加工所を設置するほか、 産直市を拡充し、温泉施設を核とした観光交流拠点となるよう 誘客に努めます ③シティプロモーション事業（仮称）（新） ・シティプロモーションを活気づくりの中核事業と捉え、役場の 組織を改編して拡大した取り組みを進めます	総合戦略 P11
			住民や企業従業員の皆さんが、より飛島村に愛着 を感じる魅力づくりを進めます	住民や企業従業員の皆さんが誇りを持って飛 島村を紹介できます	①シティプロモーション事業（仮称）（新） ・飛島村ならではの特産品を開発し、飛島村観光交流協会など村内 商店で販売します	総合戦略 P12
	魅力づくり	人口	全国的な人口減少、高齢化の波は村にも影 響を与えています	施策の積み上げによって10年後の人口は4,800人程 度を目指します	①整備推進管理事務事業（既） ・村有地活用を優先した新規住宅開発を進めます ・空き家対策を進め、転入者の増加を目指します	基本構想 P6
	健康長寿	住民の皆さん誰もが健康で安らかな長寿を 楽しみ、皆で支え合う豊かな村づくりを目 指して、保健・福祉・介護事業に取り組ん でいます	住民の皆さんが健康づくりに取り組みながら、地 域で支え合い、交流の機会が多くある社会を目指 します	誰も活躍の機会があり、地域で支え合いなが ら、元気で心豊かに暮らせる村にします	①長寿村づくり推進事業（既）一般介護予防事業（既）老人福祉 総務事業（既）特定健康診査等事業（既）後期高齢者医療事業 （既） ・健康づくり活動の推進と地域づくりを進めます。 ・トビリハシステムを継続して進め、健康的に寿命を延伸します	総合戦略 P14
	社会福祉	とびサポネット（飛島版生活支援体制整備 事業システム）により、地域福祉の問題を 把握しています	すべての住民の皆さんに居場所があり、多世代に よる交流の機会があること、また重層的な相談支 援体制を作ります	誰もが社会参加し、認め合うことで、生きが いを持てるようになります	①社会福祉協議会運営事業（既） ・住民互助の仕組みづくり（子育て、家事など有償支援する ネットワークづくり）を進めます	総合戦略 P15

飛島村がこれからの10年間で目指す姿（重点施策）

基本政策 (むらづくり)	分野	いまの村のすがた	これから目指す方向	こんな幸せにつながります	実現のために行う事業	参照 ページ
	高齢者福祉	高齢者の皆さんはシルバー人材センターを中心に活躍しています	シルバー人材センターに加えて、高齢者の皆さんが知見や経験を活かして、さらに活躍できる機会を作ります	高齢者の皆さんの活躍機会を増やすことで、いつまでも健康で長生きできる環境を整えます	①ふれあいの郷再編事業（仮称）（新） ・ふれあいの郷等拠点となる施設内で、ニーズに合わせ、担い手として、高齢者等が活躍できるよう取り組みます	総合戦略 P15
	障がい者福祉	それぞれの障がいの状況、状態に応じ障害福祉サービス等を利用し、日常生活を総合的に支援しています	村内及び海部圏域で連携し、住み慣れた地域で生活・就労できる環境を整え、尊重し、支え合える地域共生社会の実現を目指します	障がいのある方の活躍機会を増やし、いつまでも自分らしく住み慣れた地域で生活できます	①ふれあいの郷再編事業（仮称）（新） ・ふれあいの郷等拠点となる施設内で、ニーズに合わせ、担い手として、障がいがある人等が活躍できるよう取り組みます	総合戦略 P16
	土地利用	渚地区において新規住宅地を開発しました	農地の減少は最小限にとどめながら、新規住宅地の開発を模索します	転入者による人口増や流出人口の抑制により、目標人口が達成でき村の活気を維持します	①整備推進管理事務事業（既）民間住宅助成事業（既） ・村有地活用を優先にした新規住宅開発を進めます ・空き家対策を進め、転入者の増加を目指します	総合戦略 P17
	居住環境	交通量の多い道路へのゴミ捨てがあります	住民の皆さんと行政が丸となり、落ちているゴミが少ない住環境づくりを進めます	生活環境を良くすることにより、防犯面でも安全な村にします	①一般環境衛生事業（既） ・企業と連携しながら、清掃活動を継続して実施します ②防犯対策事業（既） ・防犯カメラの拡充を進めながら、住民の皆さんと行政が協力して犯罪を未然に防ぎます	総合戦略 P18
	道路	主要な村道については歩車道分離を進めていますが、未整備個所の整備を検討する必要があります	村内の生活道路に進入する車両の速度抑制を図ります	安全で住みやすい住環境を実現します	①交通安全対策施設管理事業（既）道路整備事業（既） ・村道の歩車道分離ブロックの整備等、物理的な対策を検討するほか、生活道路にゾーン30プラスを導入して地域全体に進入する車両の速度抑制を図ります ②道路維持管理事業（既） ・定期巡回を進めるとともに、計画的に生活道路の維持管理を行います	総合戦略 P19
	交通	飛島公共交通バスの蟹江線と名港線を、デマンドタクシーの海南病院通院支援タクシーを、それぞれ運行しています	住民の皆さんのニーズや企業従業員の皆さんの要望に応えるとともに、名二環、リニア開通などの交通環境の変化をふまえた交通網を再編成します	バスの運行数が増加することなどにより、通勤通学の利便性が向上します	①公共交通バス利用促進事業（既） ・蟹江線、名港線ともに増便を検討します ・新たな路線の設置について、継続的な検討を進めます	総合戦略 P20
			既存の公共交通では補完できない住民の皆さんの個別ニーズに対応する方策を模索します	受益者負担はあるものの自由な移動が可能になる範囲を拡大します	①福祉タクシー助成事業（既）老人援護対策事業（既） ・海南病院通院支援タクシーというデマンド型の公共交通に加え福祉施策として個別のニーズに応えるタクシー助成の拡充を検討します ・新たにシニアカー等購入費助成制度の創設を検討します	総合戦略 P20
	環境問題	環境基本計画（第2次：R2～11年度）を策定し、環境保全を進めています	住民の皆さんの参加によって環境問題に取り組むとともに、村の環境を美化、維持しながら次世代につないでいきます	村が環境保全活動に積極的に取り組むことで、住民の皆さんにとっても環境保全への意識が高まります	①公共交通バス利用促進事業（既）車両管理事業（既） ・飛島バスや公用車に環境適応車を導入します ②庁舎等維持管理事業（既） ・電気自動車の充電設備を公共施設駐車場に設置します ・公共施設の再生可能エネルギーの導入を検討します ③リサイクル事業（既）ごみ収集事業（既） ・エコプラザを移転するとともに利便性を向上させてリサイクルへの取り組みを進めるほか、高齢者世帯等の家庭から排出されるごみの収集方法を見直す等、リユースに取り組めます ④一般環境衛生事業（既） ・住民の皆さんと協力しSDGs（環境対策）を推進します ・カーボンニュートラル実現に向け、温室効果ガスの排出量削減に寄与する補助制度の検討を進めます	総合戦略 ①P21 ②P21 ③P21 ④P22

飛島村がこれからの10年間で目指す姿（重点施策）

基本政策 (むらづくり)	分野	いまの村のすがた	これから目指す方向	こんな幸せにつながります	実現のために行う事業	参照 ページ
人づくり	子育て	飛島保育園、第一保育所により待機児童はなく、就学後のお子さんは児童クラブに通うことができます	出産から就学の間、切れ目のない支援体制とするほか、子育て世代の負担軽減を目指して既存事業の拡大・拡充を図ります	子育てと仕事が両立できるようにすることで、安心して子どもを産み育てられる村にします	①保育所運営事業（既）児童館運営事業（既）児童クラブ運営事業（既）子育て支援センター運営事業（既）母子保健対策事業（既）児童福祉総務事業（既） ・切れ目のない支援体制とするため一層の連携を進めます ・必要と考えられる子育て支援サービスへのマッチングを進めます ②児童養育奨励事業（既） ・子育て世代の支援のため育児奨励金、就学祝金を継続します ・多子世帯への対象事業を拡充します ③母子保健対策事業（既） ・不妊治療補助などを継続します ④老人福祉総務事業（既） ・高齢者と子どもの交流機会を設定します	総合戦略 ①P23 ②P24 ③P24 ④P24
	学校教育	飛島学園が開校して12年、小中一貫教育校から義務教育学校へ移行し、制度・運用面で小中一貫教育を一層推進する体制となっています	小中一貫教育を通じて「確かな未来を拓く」飛島っ子を次の①から③の視点で育成します ①グローバル社会を生き抜く子ども ②温かい支援体制のもとで一人ひとりが主役 ③ふるさと教育が行き届き、学園と地域が連携	村で唯一の学校ならではの先進教育施策を進め、飛島学園では次の①から③の教育を進めます ①自主・論理思考・自己表現の伸展 ②ひとりも取り残さない教育 ③郷土に誇りを持つ人材の育成	①教育振興事業（既） ・ICTの活用や英語教育・SDG s 教育の充実により、国際社会で生き抜く力の醸成に取り組みます ②教育振興事業（既）学園管理事業（既）非常勤講師雇用事業（既） ・就学支援コーディネーター、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを配置して子どもたちの育成を支援します ・地域の皆さん、企業の皆さんと飛島学園が連携し、交流を進めるなかで郷土に誇りを持てるような教育を進めます	総合戦略 P25
		飛島学園では年に数回程度、減農薬野菜を用いた給食を提供しています	給食の安全性を一層高めるとともに、地産地消などの食育を進めます	減農薬野菜を用いた給食の提供や地産地消の食育を進めることで、食べ物から心身の健康づくりを進めます	①給食事業（既） ・減農薬野菜や無添加食材を用いた給食を可能な限り実施し、安全な給食のもとで食育を進めます ・給食の無償化を進めます	総合戦略 P25
	生涯学習・生涯スポーツ	文化協会、スポーツ協会の通常活動を軸に、村内イベントを開催し、成果発表の機会を設定しています 国際社会に貢献できるグローバルな視点を持った人材の育成が求められています	文化協会、スポーツ協会の活動を維持しつつ、住民の皆さんのニーズを捉え、誰もが活躍の機会がある村を目指します	多様化するニーズに応えた活動機会が提供され、住民の皆さんは興味のある分野で活躍できます	①夏まつり運営費助成事業（既）文化振興事業（既）各種大会開催事業（既）健康福祉祭事業（既）農業関係団体活動事業（既） ・夏まつり、村民体育祭、ふるさとフェスタ等のイベントの充実を図ります ②海外派遣事業（中学生）（既）生涯学習推進事業（既） ・中学生の海外派遣や小中学生向けの英語教室を継続し、国際社会で活躍する人材育成に取り組みます	総合戦略 P26